2023 年度 島根大学 医学科 英語 解答例

松江予備校

その1

1

- 1. テレビのリモコンを探すだけで、私はそれより多くの距離を歩く。
- 2. 郵便局や図書館,本屋へ行ったり,カプチーノを飲みにカフェに行ったり,妻と映画館や地元のバーに行く際に 徒歩で移動すること。
- 3. アメリカ合衆国では外出する際、その移動の93%が車の使用を含むことは注目に値する。
- 4. 屋外で歩いても、ジムのランニングマシーンのように距離、速度、カロリーの燃焼率を記録できないから。
- 5. アメリカでは、人々が近い距離の移動でも車を使うのに慣れてしまい、歩道や横断歩道も整備されていないから。

2

- 1. 私たちの話し方は、私たちが育った場所の言葉の音を表しているに過ぎないということ。
- 2. 訛りがある店員に対して、そのぶん知識が欠けていて、信用できないと考えること。
- 3. 参加者が訛りを理解することを簡単にすることは、非母語話者の話し手を信用する傾向を強めるはずである。
- 4. あらかじめポーランド語訛りを聞いていた参加者はポーランド語訛りで話される内容に対する理解力が高まった。
- 5. ポーランド語訛りを前もって聞いていた参加者は、雑学的知識がポーランド語訛りで話された場合より、母語話者によって話された場合のほうが本当のことだと思う傾向が強かったが、その差は前もって聞いていなかった参加者より小さくなったということ。
- 6. 誰にも訛りがあり、訛りは知性を表すものでないばかりか、言語能力とは無関係であるということを、私たちは皆理解しなければならないということ。

[3]

- 1. 牛乳とカルシウムの摂取量が最も高い国々で、大腿骨近位部骨折の率が最も高かったことは、相関関係であって、 因果関係ではないかもしれないということ。
- 2. with the ability of the body to greatly upregulate absorption
- 3. 被験者の数が少なく、習慣的なカルシウム摂取量や性別に関して多面的に検証することができず、研究期間も 2 ~3 週間と短かったため、必要なカルシウム摂取量と骨折の危険性との間の関係性が限定的であったこと。
- 4. a benefit of higher dairy consumption for prevention of hip fractures
- 5. 子どもの成長には正のバランスが必要とされるので、子どもにとって必要なカルシウム摂取量を算出すると問題が生じる。したがって、推奨摂取量がさまざまであることはこの不確実性を表している。
- 6. 一生分のカルシウムを蓄えておくために、カルシウムを多く摂取することが小児期に必要とされることを示す証拠。
- 7. 男性では、青年期にグラス一杯の牛乳を飲むごとに、のちに大腿骨近位部骨折となる危険性が9%ずつ上昇し、 女性では大腿骨近位部骨折となる危険性に違いがみられなかった。

2023 年度 島根大学 医学科 英語 解答例

松江予備校

その2

4

解答例

Some of my friends and I love outdoor activities, too. Actually, we enjoy camping at least once a month. We have learned much from camping like the importance of cooperating with others. Of course, studying at school is important, but we can't learn everything from textbooks. Tell me how you enjoy outdoor activities and what you have learned from them.

(60 語)

5 B

- (1) As the society is aging, more elderly people are suffering from chronic diseases, which has changed the structure of diseases in the society. To meet medical needs from elderly people, we need to help them not only to live with diseases but also to maintain and improve their QOL.
- (2) With the population structure in Japan changing, it is important to ensure the sustainability of the healthcare insurance system and the long-term care insurance system, balancing benefits and costs of both systems.